

&出し方

マナーとルールを守ってごみを出しましょう。
 分別の仕方、収集日などのお問い合わせは
市コールセンター ☎222-4894

ごみの分け方や、リサイクル・堆肥化の知識などが満載!
 ホームページ www.city.sapporo.jp/seiso

燃やせるごみ

新聞(チラシ含む)、雑誌、段ボール、紙パック、布類は集団資源回収(下記)の対象。新聞、雑誌、段ボールについては、区役所などの古紙回収ボックスに持ち込むこともできます(3ページ)。

台所のごみ



紙類



布類



食用油

草・枯葉・切り花

木の枝・幹 (50cm未満)

燃やせないごみ

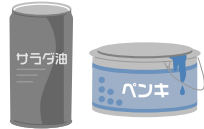
台所・水回り用品



玩具・文房具類



資源の日に 収集しない容器



小型家電製品類

ブロック・レンガ

皮革・ゴム

木の根

ほかと分けて出す 燃やせないごみ

ガラス・瀬戸物・割れた蛍光管
 厚紙などで包んで、中身の見える別袋に「キケン」と書いて出す。

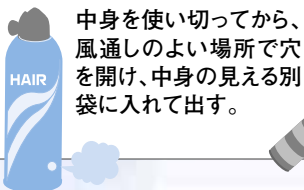
割れてない蛍光管は蛍光管リサイクル回収協力店へ。

筒型乾電池
 中身の見える別袋に入れて出す。

ボタン電池、ニッカド電池は最寄りの販売店・協力店の回収箱へ。

スプレー式容器

収集車の火災が急増中です!
 平成17年度…1年間で**78件**
 平成18年度…3カ月で**34件**
(6月末現在)



中身を使い切ってから、風通しのよい場所で穴を開け、中身の見える別袋に入れて出す。

とってもお得な集団資源回収を利用しよう!

町内会、自治会、子ども会、老人クラブ、PTAなどの住民団体で、営利を目的としない団体が、新聞などの資源を地域で回収し、業者に引き渡す活動です。回収量1kgにつき2円の奨励金が市から出ます(100円未満切り捨て、年60万円が上限)。

17年度は3,303団体から5万7,092トンの資源が回収され、計1億1,393万円の奨励金が支払われました(1団体平均約3万4,500円)。

奨励金の交付を受けるには、まず団体としての登録が必要です。

■申込先・詳細:市役所12階ごみ減量推進課 ☎211-2928

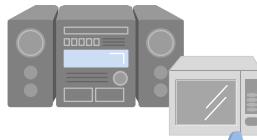
大型ごみ^(有料)

最大の辺または径が30cm(木材類・庭木類については50cm)を超える耐久消費財(右記の市が収集しないごみなどを除く)。

家具類



家電製品



スポーツ・レジャー用品



楽器

ストーブ

50cm~2mの木の枝・幹

電話申し込み

大型ごみ収集センター
 月曜~金曜(祝日含む)
 午前9時~午後4時30分
☎281-8153
(リサイクル収集も受け付け)

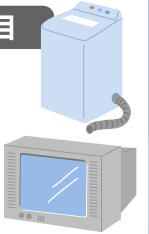
コンビニなどで
手数料シールを購入

所定の日時・場所に出す

市が収集しないごみ

家電4品目

- 洗濯機
- テレビ(ブラウン管式)
- エアコン
- 冷蔵庫および冷凍庫

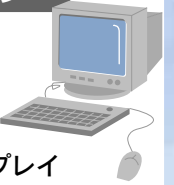


販売店

家電リサイクル・コールセンター
☎886-0148
 または家電回収協力店

パソコン

- デスクトップパソコン本体
- ノート型パソコン
- 一体型パソコン
- ブラウン管ディスプレイ
- 液晶ディスプレイ



メーカーの回収ルート

処理困難な物・危険物



- ホームタンク・消火器・バッテリー
- タイヤ・プロパンガスボンベなど

一時多量ごみ

店舗・事業所などの
 事業活動に伴って出るごみ
 請負工事から出たごみ

各関連業者

紙類

新聞、雑誌、チラシ、ダンボール、紙パックなど



布類

シーツ、タオル、下着など(綿50%以上)



びん類

一升びん、ビールびんなどのリターナブル(再利用可能な)びん



金属類

鉄・銅製の鍋、アルミニウム(タイヤのアルミホイールやアルミサッシなど)

